

令和4年度事業計画

奈良市観光協会は過去数年にわたり、観光情報の発信力強化と組織だった観光プロモーションの展開に努めてきた。中でも

- 社寺だけにとどまらない、奈良の様々な素材を提供すること
- 観光客目線で魅力的な企画に仕立てること
- 多種多様な層の観光客を対象にすること
- 旅前の段階に最も効果的に情報を提供すること

以上4点に関しては、特に重点的に取り組んできた。今後もこれらを基本戦略として、対国内・対インバウンドを問わず、また新型コロナウイルスの有無にかかわらず、一貫して強力に進めていく。

令和3年度は、インバウンドに関しては再開に向けた助走期間と位置付けた上で、まず国内誘客を優先すべきとの認識に基づき、世界遺産社寺の夜間参拝や、『佐保路』の特集を実施して、コロナの影響を受けながらも好評を博した。令和4年は、およそ2年にわたる新型コロナウイルスとの戦いの後に、まず国内から本格的に観光産業が動き出すと予想される。上記の基本戦略を継続しつつ、年齢・性別・国籍を問わず、より多くの、そしてより多様な嗜好の人々に奈良を訪れてもらうべく、以下の点に留意して事業を推進していく。

- 様々な層に対する魅力的コンテンツの発掘と企画造成
- 効果的で絶え間ない情報発信
- 外部団体、地元団体・関係者との連携
- 非接触型観光と感染症対策の整備・推進

また、各種公的補助金の活用、並びに自主財源の充実により活動の一層の充実と経営基盤の安定化をめざす。同時に、奈良市民を中心とする一般への活動周知は奈良市観光協会の将来を考えるうえで重要であり、今後特に留意していく。

(1) 観光案内所運営事業

奈良市より市内4カ所の観光案内所の運営を受託する。

コロナ後の観光ニューノーマルにおける非接触型観光を推進しながら、観光案内機能の拡大と深化により活動の幅を広げていく。引き続き感染症防止対策として、体温検知やアルコール消毒、定期的な換気などを十分に実施する。

■奈良市総合観光案内所■

JR奈良駅前の奈良市総合観光案内所は、JNTOカテゴリ3の認定維持のために機能の維持と向上をめざす。

■近鉄奈良駅総合観光案内所■

近鉄奈良駅総合観光案内所は、カテゴリ2の認定維持のために機能の維持と向上を目指す。奈良県、奈良市、奈良県ビジターズビューロー、近畿日本鉄道(株)と協議会を組織して運営している。

■奈良市観光センター「NARANICLE (ナラニクル)」■

奈良市立中部公民館内

■西ノ京臨時観光案内所■

土日祝日と周辺社寺催事期間中心に運営している。

また、観光案内所の機能拡大と深化を目指し、以下の事業を実施していく。

- 提案・交流型観光案内の推進

観光客とのコミュニケーションを深めながら、一人一人の嗜好に基づいた提案により交流型接客を行う。同時に市内で体験可能なプログラムを拡充し、体験型観光の推進を図る。

- ローカルガイドの育成

観光地域づくりの一環として、交流体験を地域自らが生み出していくため、奈良の歴史・文化・風習を伝える高いホスピタリティを持つ人材を育成する。

- 他観光案内所との連携

東京などの観光案内所と連携を図り、奈良の情報が各地にダイレクトに届く体制を構築する。市内観光案内所(鍋屋観光案内所、転害門観光案内所、奈良町南観光案内所『鹿の舟』、京終駅観光案内所『ハテノミドリ』)との連携も強化し、地域情報を常に収集・発信する。

- 県内周遊観光の促進

県下市町村に働きかけ、奈良市観光センターにて各地域のプロモーションを実施する。

- 奈良の伝統文化を生かした観光振興の展開

奈良伝統工芸後継者育成研修生が手がけた工芸品の展示や制作実演により、伝統文化・芸術を通じた新たな観光振興を展開する。

- 観光案内のデジタル化
非接触型観光案内導入の一環として、安心安全な旅プランを作成し、観光スポットに効率的に送客可能な周遊観光を促進する。
- オンラインを活用した情報発信
観光案内所や観光スポットからのオンライン中継を定期的実施し、ファン層の拡大と、将来の訪問につなげる。

(2) 非接触型観光推進事業

■チャットボットによる観光案内サービス■

奈良市観光協会のホームページ上や、スマートフォン等のモバイル端末に観光案内用多言語チャットボットサービスを提供し、観光客の利便性向上を図る。

■混雑状況の可視化■

観光客に人流過密スポットを避けた安全な環境を整備するため、観光施設や店舗の混雑情報、営業時間や休業日等を確認できるサービスを提供する。スマートフォン等のモバイル端末や、観光案内所に設置したデジタルサイネージにてリアルタイムで混雑情報を発信する。また、市内各所に設置した Wi-Fi パケットセンサーで人流を計測して地点ごとの混雑状況を可視化し、観光案内所のデジタルサイネージ上とモバイル端末に情報を提供する。

(3) 観光情報提供事業（紙媒体発行）

■「ならり」の発行■

季節の観光情報や、奈良市観光協会の新しい取り組みなどを紹介する誘客目的の情報誌（年2回刊）として、令和4年度秋冬号と令和5年度春夏号を発行する。市内観光案内所、並びに連携する各地の観光案内所や観光団体をはじめ、交通事業者、旅行会社などへ配架・配布を依頼する。各種メディアにも送付し、奈良市観光協会が実施するキャンペーンやホームページ、SNS等の広報手段と密接に連動させて知名度・普及度を上げていく。また、目標とする購読層に正しく配布されているかを常に確認し、新たな配布先の開拓に努めていく。

■「なら栞(しおり)」の発行■

年間を通じた奈良市の総合観光情報誌として発行する。
また、観光案内所で多用される日本語マップを制作する。

(4) 観光情報提供事業（デジタル情報）

ホームページ、SNSなどデジタル情報による観光情報の発信を拡充させ、その即時性を生かして観光情報誌などの紙媒体と相互に補完していく。また、グーグルアナリティクスなどによるアクセス解析により、情報の最適化と効果的な情報発信をめざす。

■奈良市観光協会公式ホームページの運営■

観光情報を中心に提供するホームページを多言語（日・英・繁・簡・韓）で運営する。様々な行事・イベントに加え、緊急性のあるニュースも提供していく。また、奈良市観光協会が制作する観光情報誌・マップなど紙媒体のダウンロード機能も提供する。

■奈良市観光協会公式フェイスブックの運営■

観光情報や、イベント情報等を多言語（日・英・繁・簡・韓）でタイムリーに発信する。また、奈良市観光協会公式キャラクター「しかまるくん」フェイスブックも運営する（日本語）。

■奈良市観光協会公式インスタグラムの運営■

主に「なつの奈良旅キャンペーン」などのキャンペーン企画と連動して運営する。

■奈良市観光協会 YouTube チャンネルの運営■

イベント、自主企画などを取材し、適宜配信していく。

■メールマガジンの配信■

奈良市観光協会会員に向けて、毎月メールマガジンを配信し、観光協会の取り組みや、観光産業の話題などを紹介し、協会の活動に対する会員の皆様の理解を深める一助とする。

(5) 観光プロモーション事業（広報宣伝）

新聞、テレビ、ウェブニュース、旅行・カルチャー誌など各メディアにおける奈良の露出を最大限に高めるための広告出稿と、各種取材対応、プレスイベントの開催等を通じて、積極的に広報宣伝を実施しながら、それら各メディアとの関係構築に努めていく。

■プレスリリースとプレスイベント■

奈良市観光協会のキャンペーンや、伝統行事・観光行事のプレスリリースをタイムリーに配信し、ホームページで公開する。また、キャンペーン実施前にプレス関係者を招待し、キャンペーンを実地において紹介することで広報効果を高めていく。

■首都圏での広報■

首都圏における継続的な広報として、大手旅行会社と連携し、観光客が奈良市来訪時に楽しめるコンテンツを旅行パンフレット内にて紹介してもらおう。また、奈良市東部地区振興の一環として、柳生観光協会と制作した動画『柳生街道』を広報する。

(6) 観光キャンペーン事業（企画作成と実施）

夏、秋、冬、春の4回に誘客キャンペーンを展開し、新たなファン層の開拓と観光客の滞在時間の延長・宿泊誘引を図る。観光情報誌「ならり」、各種SNS、奈良市観光協会ツアー『奈良満喫体験』と連動させ、市内他団体や交通事業者、旅行会社と密接に連携する。

■『なつの奈良旅キャンペーン』事業■

「満たされる景色は朝と夜に」をテーマに、「奈良・西ノ京ロータスロード」「奈良若草山トワイライト・夜景観賞バス」「なつの鹿寄せ」など、朝と夜を楽しむ企画を紹介し、夏季オフシーズンの観光客の滞在時間延長と宿泊誘引をめざす（6月16日～8月31日）。

「奈良・西ノ京ロータスロード」

奈良市西ノ京地区の西大寺・喜光寺・唐招提寺・薬師寺を「蓮」をテーマに巡る共通拝観券を販売する。早朝企画による宿泊誘引と、奈良公園周辺に集中する観光客の市内回遊をめざす。令和4年度はオンライン拝観券を導入し、効率化と非接触型観光の推進を強化する。

「奈良若草山トワイライト・夜景観賞バス」

専用バスで若草山に向かい、山頂にて夕景から夜景へと移ろう景色を鑑賞する。

「なつの鹿寄せ」

奈良の朝の風物詩として好評な行事を実施する。

■『秋夜の奈良旅』事業（11月頃）■

秋季シーズンの強力な宿泊誘引材料として、昨年、一昨年と好評であった世界遺産社寺の夜間参拝と関連ツアーを実施して、正倉院展期間中の賑わいをその終了後も持続させる。

■『冬の奈良大和路キャンペーン』事業■

冬季オフシーズン対策として、奈良市中心部へと至る「大和路」をテーマに、市内の特定地域（地区）を選定し、歴史のみならず、食や体験など様々な素材を紹介し、新たな奈良ファンを開拓する（12月～2月）。

■『春』事業■

桜シーズンに桜開花情報の発信と合わせて実施する（3月～4月）。

■『ライドアラウンド in なら』■

奈良県内4市町村（奈良市・田原本町・明日香村・吉野町）と連携した、自転車を活用したプロモーション活動を継続実施する。

■『奈良しゅわボール』事業■

奈良市飲食店組合や民間事業者の協力で、清酒発祥の地である奈良の知名度向上のために、奈良の地酒をソーダなどで割った「奈良しゅわボール」の普及に努める（登録商標取得済）。

(7) 海外プロモーション事業

コロナ後の訪日インバウンド観光客需要の復活を見すえ、アジア・オーストラリア・欧州を主なターゲットとした活動を展開する。

■台湾■

関西観光本部が台湾主要都市で主催する商談会にオンラインで参加し、現地の旅行業者と一般消費者に奈良の観光情報を提供する。また、繁体字フェイスブックの運営により、台湾のみならず香港での情報発信に力を入れる。

■オーストラリア・欧州における海外特派員■

現地在住の「海外特派員」を選任し、旅行前の「発地」における奈良市の観光情報の発信に努めると同時に、訪日旅行に関する現地情報の収集を継続する。

■『Walk Challenge Japan 2022』■

コロナにより2年延期されているオランダウォーキング協会が後援するウォーキングイベント（令和5年3月予定）に向け、奈良市、奈良県ウォーキング協会、柳生観光協会や、同時期に開催される長崎市、さいたま市などと連携・協力する。また、オランダ人参加者によるSNS発信により、奈良の情報がオランダ・欧州を中心に広く拡散する手段を講じる。

その他、訪日インバウンド観光客需要の復活に備えた活動を随時実施していく。

(8) 渉外活動と修学旅行誘致活動

主にB to B形式による誘客活動を展開する。

首都圏、京阪神を中心に、観光事業者、交通事業者、旅行会社、報道関係者に奈良の観光素材や奈良市観光協会の企画を紹介する。また、交通事業者等が主催するキャンペーンに積極的に参加・協力して良好な関係を維持し、プロモーションやキャンペーンの円滑な実施と広報の拡大をめざす。

■修学旅行誘致事業■

奈良観光に大きな位置を占める修学旅行の誘致活動を、奈良市、奈良市旅館ホテル組合と分担・協力しながら実施していく。令和3年度に造成したSDGsをテーマにした「奈良市ならではの体験型教育旅行プログラム」を各地の学校関係者、旅行会社などに紹介していく。誘致が見込める地域の学校、教育委員会、学校長会、旅行会社などを訪問し、誘致活動と情報収集を行う。修学旅行を計画する学校の下見受け入れや、宿泊校のための僧侶の出張法話、奈良来訪時の班別行動に対応した体験プログラムの提供などを行う。また、引き続き奈良市観光協会事務局に修学旅行に関する各種問い合わせと、体験プログラム手配などに関する窓口を設置し、同時に各地の学校情報等を収集分析する。

(9) その他の主な誘客活動

■『NARA CITY コンシェルジュ』事業■

第3代NARA CITY コンシェルジュ（3名）は、各種イベント、行事などに参加して奈良市観光のPRに努める。また、公式ブログ、ツイッター、インスタグラムの運営と動画配信などにより知名度の向上に取り組む。第4代NARA CITY コンシェルジュ（3名）を一般公募により選出する。選出に際しては、選考委員会を設置し公正な審査を行う。

■『しかまるくん』による情報発信事業■

奈良市観光協会公式キャラクター「しかまるくん」を活用した各種イベント、行事への参加、街頭でのグリーティングや、「しかまるくん」フェイスブックとインスタグラムの運営により、奈良市観光のPRに努める。また、出演・デザイン使用ならびに商品化ライセンスは、適正かつ厳正に管理していく。

(10) 社寺関連・地元関連事業

■伝統行事等■

「薪御能」「奈良大文字送り火」「采女祭」の保存会事務局として、行事の円滑な実施に努める。各行事の認知度向上に努め、伝統行事による観光客誘致につなげていく。

行事	日時	実施場所	役割
薪御能	5月20・21日	春日大社・興福寺	保存会事務局
奈良大文字送り火	8月15日	飛火野・高円山	保存会事務局
采女祭	9月10日	JR奈良駅～猿沢池	保存会事務局
第887回 春日若宮おん祭	12月17日	登大路園地敷席	特別敷席運営 (奈良県委託事業)
		松の下式敷席	特別敷席運営 (主催事業)
春日大とんど	1月28日	飛火野	春日大社共催
第9回 珠光茶会	2月上旬	市内各社寺	実行委員会事務局

その他、市内各社寺の行事への支援・協力と広報宣伝を実施する

(11) 協会自主収益事業

■着地型ツアー『奈良満喫体験』の企画・販売■

奈良市観光協会オリジナルの着地型ツアーブランドとして、『奈良満喫体験』を展開する。

奈良ならではの社寺関連企画に加えて、奈良観光の多様さとユニークさを強調した市全域をカバーする企画を盛り込み、一般の旅行会社には無い充実した内容とすることで、新たな奈良ファン層の奈良訪問のきっかけとする。また、滞在時間延長に寄与することをめざす。奈良市観光体験予約サイト「NARAタイム」にて予約受付・管理を行う。

■手荷物預かり事業■

奈良市総合観光案内所において観光客の手荷物預かりを実施する。インバウンド客の利便性向上のためQRコード決済を導入している。

■物品販売■

各案内所において、「しかまろくん」グッズ、正倉院展チケット等を販売する。「しかまろくん」グッズの商品展開において、各制作業者からライセンス収入を得る

(12) その他の事業

■アイドリングストップ乗務員休憩所運営■

市内3社寺駐車場のアイドリングストップ乗務員休憩所を運営する（奈良市受託事業）。春日大社 薬師寺 唐招提寺

■富雄丸山古墳関連業務■

富雄丸山古墳の発掘体験学習に関わる受付、広報及び企画等を行う（奈良市受託事業）。

■姉妹都市連携事業■

福島県郡山市、福井県小浜市など奈良市と姉妹・友好関係にある都市との交流を深めるため、双方の行事への使節団の派遣・受け入れなどを行う。

■「おもてなし民間トイレ」■

観光客の利便性向上のために、民間事業者などの協力で観光客が利用できる「おもてなし民間トイレ」を設置・運営する。

■全国高等学校ラグビーフットボール大会における宿泊誘致事業■

奈良県ならびに奈良市旅館ホテル組合と連携し、出場校の大会期間中の奈良市内宿泊誘致に努める。また、滞在中の練習会場の確保と練習日程の調整を担当する。

■関係団体共同事業■

奈良マラソン実行委員会、平城宮跡にぎわいづくり実行委員会、東海自然歩道連絡協会、奈良の鹿愛護会など各団体の委員、理事として奈良市観光の振興に努める。

以上

令和4年度予算（予定正味財産増減計算書）

令和4年4月1日

（単位：円）

科 目	当年度予算額	前年度予算額	増 減	備 考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
受取会費				
正会員受取会費	9,240,000	9,600,000	-360,000	既会員760口、新規会員10口
事業収益				
販売事業収益	1,359,000	1,359,000		
特別観覧席収益	5,038,000	5,550,000	-512,000	おん祭棧敷席
手荷物預かり事業収益	300,000	480,000	-180,000	
観光情報提供事業収益	1,480,000	1,380,000	100,000	観光情報誌広告料
ロイヤリティ事業収益	647,000	500,000	147,000	
旅行事業収益	5,000,000	5,000,000		
カフェ運営協力収益	2,400,000	2,400,000		
NARANICLE運営事業収益	1,512,000	1,512,000		レストラン運営共益費見合い
受取補助金等				
受取奈良市補助金	180,000,000	180,400,000	-400,000	
受取民間補助金	400,000	400,000		東海自然歩道総会開催費補助
受取奈良市受託料	113,147,000	112,081,000	1,066,000	
受取負担金				
受取民間負担金	6,988,000	15,451,000	-8,463,000	出向人件費負担金等／出向者減
雑収益				
受取利息	1,000	2,000	-1,000	
雑収益	120,000	120,000		外貨両替機協力金収入
経常収益計	327,632,000	336,235,000	-8,603,000	
(2) 経常費用				
事業費				
役員報酬	7,704,000	8,124,000	-420,000	専務理事報酬／通勤費科目変更による減
給料手当	115,336,000	124,004,000	-8,668,000	通勤費・案内所経費科目変更による減
臨時雇賃金	500,000	797,000	-297,000	
福利厚生費	22,316,000	14,540,000	7,776,000	案内所経費科目変更による増
旅費交通費	6,511,000	3,224,000	3,287,000	渉外旅費の減／通勤費科目変更による増
通信運搬費	2,265,000	1,593,000	672,000	案内所経費科目変更・共通費用配分による増
会議費	527,000	502,000	25,000	
交際費	470,000	470,000		
減価償却費	283,000	283,000		
消耗品費	2,540,000	4,922,000	-2,382,000	案内所経費科目変更による減
修繕費	1,308,000	1,362,000	-54,000	
印刷製本費	3,728,000	4,531,000	-803,000	外国語パンフ印刷の減
燃料費	126,000		126,000	共通費用配分による増
光熱水料費	9,478,000	9,476,000	2,000	
賃借料	11,173,000	8,483,000	2,690,000	案内所経費科目変更・共通費用配分による増
保険料	693,000	380,000	313,000	共通費用配分による増
諸謝金	6,004,000	5,092,000	912,000	鹿寄せ謝礼等の増
租税公課	6,622,000	5,915,000	707,000	
支払負担金	1,624,000	1,762,000	-138,000	
諸会費	165,000	165,000		
支払補助金	23,935,000	23,935,000		
支払寄付金	87,000	87,000		
委託費	67,277,000	67,919,000	-642,000	案内所経費の減／共通費用配分による増
支払手数料	333,000	39,000	294,000	しかまる商標更新費の増
広報宣伝費	9,284,000	8,185,000	1,099,000	国内プロモーション経費の増
雑費	2,230,000	2,436,000	-206,000	
管理費				
役員報酬	1,296,000	1,328,000	-32,000	専務理事報酬／通勤費科目変更による減
給料手当	15,009,000	22,944,000	-7,935,000	出向者減
福利厚生費	3,131,000	4,458,000	-1,327,000	出向者減
研修費	260,000	300,000	-40,000	
会議費	837,000	921,000	-84,000	
交際費	50,000	50,000		
旅費交通費	398,000	46,000	352,000	通勤費科目変更による増
通信運搬費	384,000	768,000	-384,000	共通費用を事業費に配分
減価償却費	69,000	75,000	-6,000	
消耗品費	391,000	468,000	-77,000	
修繕費	25,000	200,000	-175,000	共通費用を事業費に配分
印刷製本費	150,000	181,000	-31,000	
燃料費	18,000	200,000	-182,000	共通費用を事業費に配分
光熱水料費	45,000	47,000	-2,000	
賃借料	1,171,000	3,050,000	-1,879,000	共通費用を事業費に配分
保険料	43,000	301,000	-258,000	共通費用を事業費に配分
租税公課	115,000	125,000	-10,000	法人税等
諸会費	176,000	174,000	2,000	
支払手数料	334,000	317,000	17,000	

令和4年度予算（予定正味財産増減計算書）

令和4年4月1日

（単位：円）

科 目	当年度予算額	前年度予算額	増 減	備 考
委託費	1,201,000	1,956,000	-755,000	共通費用を事業費に配分
雑費	10,000	100,000	-90,000	
経常費用計	327,632,000	336,235,000	-8,603,000	
評価損益等調整前当期経常増減額				
評価損益等計				
当期経常増減額				
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計				
(2) 経常外費用				
経常外費用計				
当期経常外増減額				
他会計振替前当期一般正味財産増減額				
税引前当期一般正味財産増減額				
当期一般正味財産増減額				
一般正味財産期首残高	32,151,527	32,151,527		
一般正味財産期末残高	32,151,527	32,151,527		
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額				
指定正味財産期首残高	2,057,415	2,057,415		
指定正味財産期末残高	2,057,415	2,057,415		
III 正味財産期末残高	34,208,942	34,208,942		

令和4年度予算（予定正味財産増減計算書内訳表）

令和4年4月1日

予算報告用

（単位：円）

科 目	公益目的事業会計			収益事業会計			その他事業会計				法人会計	内部取引消去	合 計
	公益事業1	共通（公益）	小 計	収益事業1	共通（収益）	小 計	その他事業1	その他事業2	共通（その他）	小 計			
I 一般正味財産増減の部													
1. 経常増減の部													
(1) 経常収益													
受取会費		4,620,000	4,620,000		462,000	462,000	231,000	231,000		462,000	3,696,000		9,240,000
正会員受取会費		4,620,000	4,620,000		462,000	462,000	231,000	231,000		462,000	3,696,000		9,240,000
事業収益	1,480,000		1,480,000	16,256,000		16,256,000							17,736,000
販売事業収益				1,359,000		1,359,000							1,359,000
特別観覧席収益				5,038,000		5,038,000							5,038,000
手荷物預かり事業収益				300,000		300,000							300,000
観光情報提供事業収益	1,480,000		1,480,000										1,480,000
ロイヤリティ事業収益				647,000		647,000							647,000
旅行事業収益				5,000,000		5,000,000							5,000,000
カフェ運営協力収益				2,400,000		2,400,000							2,400,000
NARANICLE運営事業収益				1,512,000		1,512,000							1,512,000
受取補助金等	183,782,000	86,825,000	270,607,000		4,707,000	4,707,000	2,840,000	1,700,000		4,540,000	13,693,000		293,547,000
受取奈良市補助金	70,635,000	86,825,000	157,460,000		4,707,000	4,707,000	2,840,000	1,300,000		4,140,000	13,693,000		180,000,000
受取民間補助金								400,000		400,000			400,000
受取奈良市受託料	113,147,000		113,147,000										113,147,000
受取負担金	100,000		100,000								6,888,000		6,988,000
受取民間負担金	100,000		100,000								6,888,000		6,988,000
雑収益				120,000		120,000					1,000		121,000
受取利息											1,000		1,000
雑収益				120,000		120,000							120,000
経常収益計	185,362,000	91,445,000	276,807,000	16,376,000	5,169,000	21,545,000	3,071,000	1,931,000		5,002,000	24,278,000		327,632,000
(2) 経常費用													
事業費用	185,567,000	93,109,000	278,676,000	13,152,000	5,066,000	18,218,000	3,218,000	2,407,000		5,625,000			302,519,000
役員報酬		6,741,000	6,741,000		369,000	369,000	297,000	297,000		594,000			7,704,000
給料手当	49,391,000	60,751,000	110,142,000		3,312,000	3,312,000	1,129,000	753,000		1,882,000			115,336,000
臨時雇賃金	500,000		500,000										500,000
福利厚生費	8,227,000	12,979,000	21,206,000		708,000	708,000	241,000	161,000		402,000			22,316,000
旅費交通費	3,502,000	1,934,000	5,436,000	900,000	105,000	1,005,000	36,000	34,000		70,000			6,511,000
通信運搬費	1,555,000	354,000	1,909,000	326,000	19,000	345,000	7,000	4,000		11,000			2,265,000
会議費	127,000		127,000					400,000		400,000			527,000
交際費	470,000		470,000										470,000
減価償却費	73,000	210,000	283,000										283,000
消耗品費	2,165,000		2,165,000	375,000		375,000							2,540,000
修繕費	1,133,000	161,000	1,294,000		9,000	9,000	3,000	2,000		5,000			1,308,000
印刷製本費	2,044,000	977,000	3,021,000	624,000	53,000	677,000	18,000	12,000		30,000			3,728,000
燃料費	116,000	116,000	232,000		6,000	6,000	2,000	2,000		4,000			126,000
光熱水料費	7,651,000	290,000	7,941,000	1,512,000	16,000	1,528,000	5,000	4,000		9,000			9,478,000
貸借料	1,614,000	7,623,000	9,237,000	1,279,000	416,000	1,695,000	142,000	99,000		241,000			11,173,000
保険料	163,000	278,000	441,000	228,000	15,000	243,000	5,000	4,000		9,000			693,000
諸謝金	4,579,000		4,579,000	1,425,000		1,425,000							6,004,000
租税公課	6,586,000		6,586,000	36,000		36,000							6,622,000
支払負担金	1,470,000		1,470,000										1,624,000
諸会費								154,000		154,000			165,000
支払補助金	23,935,000		23,935,000										23,935,000
支払寄付金													87,000
委託費	61,692,000	695,000	62,387,000	4,830,000	38,000	4,868,000	13,000	9,000		22,000			67,277,000
支払手数料	39,000		39,000	294,000		294,000							333,000
広報宣伝費	8,600,000		8,600,000	684,000		684,000							9,284,000
雑費	51,000		51,000	639,000		639,000	1,320,000	220,000		1,540,000			2,230,000
管理費											25,113,000		25,113,000
役員報酬											1,296,000		1,296,000
給料手当											15,009,000		15,009,000
福利厚生費											3,131,000		3,131,000
研修費											260,000		260,000
会議費											837,000		837,000
交際費											50,000		50,000
旅費交通費											398,000		398,000

令和4年度予算（予定正味財産増減計算書内訳表）

令和4年4月1日

予算報告用

（単位：円）

科 目	公益目的事業会計			収益事業会計			その他事業会計				法人会計	内部取引消去	合 計
	公益事業1	共通（公益）	小 計	収益事業1	共通（収益）	小 計	その他事業1	その他事業2	共通（その他）	小 計			
通信運搬費											384,000		384,000
減価償却費											69,000		69,000
消耗品費											391,000		391,000
修繕費											25,000		25,000
印刷製本費											150,000		150,000
燃料費											18,000		18,000
光熱水料費											45,000		45,000
賃借料											1,171,000		1,171,000
保険料											43,000		43,000
租税公課											115,000		115,000
諸会費											176,000		176,000
支払手数料											334,000		334,000
委託費											1,201,000		1,201,000
雑費											10,000		10,000
経常費用計	185,567,000	93,109,000	278,676,000	13,152,000	5,066,000	18,218,000	3,218,000	2,407,000		5,625,000	25,113,000		327,632,000
評価損益等調整前当期経常増減額	-205,000	-1,664,000	-1,869,000	3,224,000	103,000	3,327,000	-147,000	-476,000		-623,000	-835,000		
評価損益等計													
当期経常増減額	-205,000	-1,664,000	-1,869,000	3,224,000	103,000	3,327,000	-147,000	-476,000		-623,000	-835,000		
2. 経常外増減の部													
(1) 経常外収益													
経常外収益計													
(2) 経常外費用													
経常外費用計													
当期経常外増減額													
他会計振替前当期一般正味財産増減額	-205,000	-1,664,000	-1,869,000	3,224,000	103,000	3,327,000	-147,000	-476,000		-623,000	-835,000		
税引前当期一般正味財産増減額	-205,000	-1,664,000	-1,869,000	3,224,000	103,000	3,327,000	-147,000	-476,000		-623,000	-835,000		
当期一般正味財産増減額	-205,000	-1,664,000	-1,869,000	3,224,000	103,000	3,327,000	-147,000	-476,000		-623,000	-835,000		
一般正味財産期首残高											32,151,527		32,151,527
一般正味財産期末残高	-205,000	-1,664,000	-1,869,000	3,224,000	103,000	3,327,000	-147,000	-476,000		-623,000	31,316,527		32,151,527
II 指定正味財産増減の部													
当期指定正味財産増減額													
指定正味財産期首残高	49,766		49,766								2,007,649		2,057,415
指定正味財産期末残高	49,766		49,766								2,007,649		2,057,415
III 正味財産期末残高	-155,234	-1,664,000	-1,819,234	3,224,000	103,000	3,327,000	-147,000	-476,000		-623,000	33,324,176		34,208,942

事業 年度	自	令和4年4月1日	法人コード	A021692
	至	令和5年3月31日	法人名	公益社団法人奈良市観光協会

資金調達及び設備投資の見込みについて

(1) 資金調達の見込みについて

当期中における借入れの予定の有無を記載し、借入れ予定がある場合は、その借入先等を記載してください。

借入れの予定		なし		
事業 区分	番号	借入先	金額	用途
			円	

(2) 設備投資の見込みについて

当期中における重要な設備投資(除却又は売却を含む。)の予定の有無を記載し、設備投資の予定がある場合には、その内容等を記載してください。

設備投資の予定		なし		
事業 区分	番号	設備投資の内容	支出又は収入の 予定額	資金調達方法 又は取得資金の用途
			円	